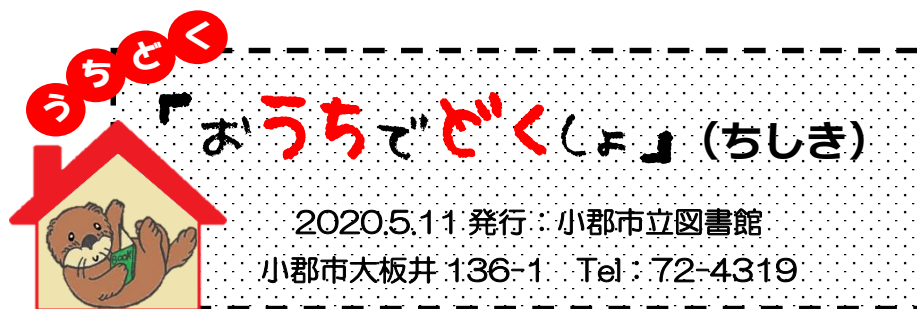




しょうがくせい 小学生のみなさんへ

しんがた 新型コロナウイルスの流行で、お家にいることが多くなっていることとおもいます。

こんなときは、お家で本を読んでもみませんか。本は、たいくつしているあなたを、いろいろな所へ連れていってくれたり、あなたが知らないおもしろいことやふしぎな事、役に立つ事を教えてくれたりします。

このプリントに、市立図書館がおすすめする本を紹介しています。学校の図書館で探して読んでみてください。

保護者の方へ

自宅で読書を楽しんでもらうために、市立図書館でおすすめする本のリストを作成しました。

読書は楽しいことですが、子どもが自分で読むことができるようになるには、大人の手助けが必要です。低学年のお子さん、自分で読むことが苦手なお子さんには、ぜひ読んであげてください。

読書は、心を豊かにするだけでなく、想像力を育て、学習の基礎となる読解力も育てます。この機会に楽しい読書を習慣にしませんか。

「イヌのいいぶんネコのいいわけ」

イヌとネコにともだちになってもらう本

みちかにいるイヌとネコですが、いざ なかよくなろうとすると、どうすればいいかわからない人も おおいのではないのでしょうか？この本では、どうすればなかよくなれるのかを、しゃしんでわかりやすくせつめいしてくれます。これでアナタもイヌ・ネコはかせになれるかも？！



なかの ひろみ／文 植木 裕幸／写真 福田 豊文／写真 福音館書店

「海へのいきもの」

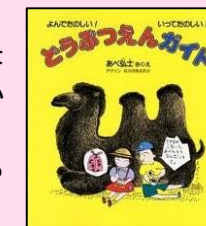
なつといえば、「うみ」ですね。うみには、およぐだけじゃない、かんさつするたのしみもあるんですよ。さかなやかい、かいそうやむしまで、たくさんの「うみへのいきもの」がのっています。この本をかたてに、うみべをたんけんしてみませんか？



松岡 達英／え 浅井 ミノル／ぶん 福音館書店

「どうぶつえんガイド」

みなさん、どうぶつはすきですか？この本では、「ぞうのはなはなぜながいのか？」「ラクダのこぶはおべんとう？」など、いろんなどうぶつの「？」がたくさんつまっています。これをしてしていると、いつものどうぶつえんが もっとたのしくなることまちがいのなしの1さつです。



あべ 弘士／さく え なかの まさたか／デザイン 福音館書店

「なく虫ずかん」

あきになると、そこからは、なつとはちがった「すずしげ」なこえがきこえてきます。あきの虫たちがなっているのです。よる、テレビをけて、虫たちのこえにみみをすませてみませんか？

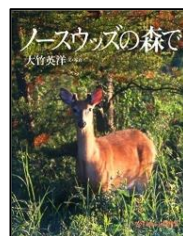


松岡 達英／え 篠原 栄太／もじ 佐藤 聡明／おと 大野 正男／ぶん 福音館書店

「ノースウッズの森で」(たくさんのふしぎ傑作集)

アメリカたいりくのきたにある「ノースウッズ」とよばれる大きなもりには、たくさんのやせいどうぶつたちがすんでいます。さくしゃのおおたけさんが、はるからふゆにかけてであった、いろんなどうぶつやふうけいが、しゃしんでしょうかいされます。

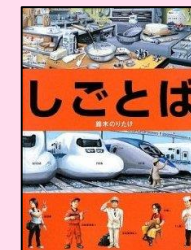
大竹 英洋／文 写真 福音館書店



「しごとば」

おすしやさんや、はいしゃさん、しんかんせんのうんてんしゅなど、「しょくにんさん」9人のしごとばがかかれた本です。しごとのどうぐや、しごとのなかが、くわしくかかれていて、ワクワクしますよ。しょうらいのゆめを見つけることができるかもしれません。

鈴木 のりたけ／作 ブロンズ新社



「ノラネコの研究」

ノラネコはいつもなにをしているかしっていますか？この本は、さくしゃの いざわさんがノラネコの「ナオスケ」のあとをあさの10じから、つぎの日のあさの6じまで おいかけたさくらです。ネコしゃかいのルールなど、はじめてしることもたくさんあって、とてもおもしろい本です。

伊沢 雅子／文 平出 衛／絵 福音館書店



「ぼくらの地図旅行(ちずりょこう)」

小学生の2人がちずを見ながら、13キロさきのとうだいをめざすおはなしです。ちずの中では、かんたんなみちのりに見えても、ほんとうにあるいてみると、わかれみちやちずにのっていないみちなど、いろいろなもんだいがおこります。ときどき2人はケンカもします。2人はとうだいにたどりつけるかな？

那須 正幹／ぶん 西村 繁男／え 福音館書店



「鳥の巣いろいろ」

みなさんは、とりのすをみたことがありますか。とりのすは、おやどりがたまごをあたためて、生まれたひなを、てきから守ってそだてるための家です。とりに、いろいろなしゅるいがあるように、すにも、いろいろな形があります。えをみるだけでも、おどろきがいっぱいの本です。

鈴木 まもる／作・絵 偕成社



「しょうにゅうどう探検」

「しょうにゅうどう」はどうくつのしゅるいのひとつです。やまぐちけんの「あきよしどう」がゆうめいですよね。あつい夏でもしょうにゅうどうのなかはひんやりしています。しょうにゅうどうの中がどうなっているのか、本でたんけんしてみましょう！すずしい気持ちになれるかもしれませんよ。

徳富 一光／著 あかね書房



「はなのあなのはなし」

くきがかんそうすると はなのあながカラカラになったり、はなみずがでたりしますよね。「はな」ってなんのためにあるのでしょうか？にんげんとうぶつのはなのちがいや、はなのやくわりについて、わかりやすくおしえてくれる本です。

やぎゆう げんいちろう／さく 福音館書店



「つき」 特製版かがくのとも

よるにそとに出て、さむくないきせつになりましたね。こんなときに月のかんさつはいかがですか？この本では、新月から三日目のみかづきからはじまり、27日目までの月のようすを写真でたどることができます。この本をみながら親子で月をながめてみませんか？

山田 和／さく 福音館書店



「星空図鑑（ほしぞらすかん）」

いえにこもる日がつづきますが、そんなときは空をみあげてみませんか？この本ではきせつごとに、よぞらにあらわれるほしがたくさんっています。本をかたてに、よぞらのかんさつを試みましょう！じぶんのせいざをさがしてみるのも、楽しいですよ。

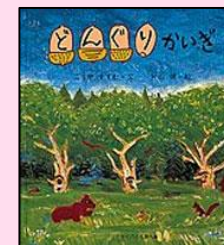
藤井 旭／写真 文 ポプラ社



「どんぐりかいぎ」

きたのくには、どんぐりがたくさんなるとしと、すこししかないとしが1ねんおきにありますが。どうしてそうなるのでしょうか？——それは、どんぐりたちがかいぎをしているからなのです。

こうや すずむ／文 片山 健／絵 福音館書店



「野の花えほん 春と夏の花」

（ののはなえほん はるとなつのはな）

はるは、いろんなしよくぶつが花（はな）をさかせます。じつは、がっこうにかようみちにも、よくみるとたくさん野（の）の花がさいているんですよ。この本では、野の花のとくちょうやたべかた、あそびかたなどをしょうかいしています。

前田 まゆみ／作 あすなろ書房



「おばあちゃんの小さかったとき」

おばあちゃんが子どもだったとき、どんなことをしてあそんでいたか、きいたことがありますか。この本では、おばあちゃんが小さかったころのことが絵でしょうかいされています。『おじいちゃんの小さかったとき』もよんでみてください。

※『母さんの小さかったとき』が改訂・改題された本です。

おちとよ／文 ながたはるみ／絵 福音館書店



「たんぽぽ」

日あたりのよい道やのはらなど、いろいろなところでたんぽぽは花をさかせます。たんぽぽをよくみると、ちいさな花がたくさんついているのがわかります。この本をよむと、たんぽぽの花やわたげ、ねっこのひみつなど、みちかなくさばなのふしぎがわかります。

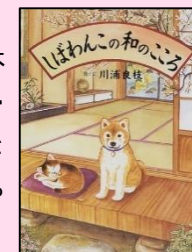
平山和子／ぶん・え 北村四郎／監修 福音館書店



「しばわんこの和のこころ」

しばいぬの「しばわんこ」が、むかしからうけつがれてきた日本人のくらしかたについて、おしえてくれる本です。日本には はる・なつ・あき・ふゆと「四季（しき）」がありますよね。しばわんこといっしょに四季をかんじてみませんか？この本をよんで、おうちの人に、どんなくらしをしていたかをきくのも、いいですね。

川浦 良枝／絵と文 白泉社

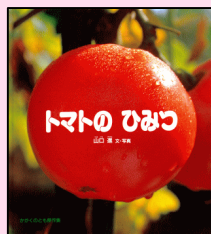


「トマトのひみつ」

トマトばたけにクモがすをかけました。でもエサの虫はまったくす にかかりません。なぜでしょうか？

それは、トマトのからだに生えている”毛（け）”にひみつがあったのです！トマトのひみつをさぐってみましょう！

山口 進／文・写真 福音館書店



「しんぶんしあそび」おって まるめて やぶいて あそぼう！

何してあそぼうかな？と思った時は、新聞紙（しんぶんし）の出ばんです。この本は、新聞紙を使った色んなあそびを教えてください。おってかぶとやぼうしを作るお馴染みのものから、ほそく切ってしっぽとりあそび…などなど。もり上がることまちがいナシです。

藤本 とむこ／著 ハッピーオウル社



「おもちゃの工作ランド」

お家にあるものでかんたんにできるおもちゃの作り方がたくさんしょうかいされている工作（こうさく）の本です。

雨の日にはお家のなかで、おもちゃを作ってあそぶのもたのしいですよ。

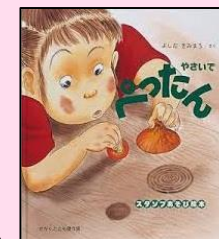
成井 俊美／作 三枝 祥子／絵 福音館書店



「やさいでぺったん」

きせつのやさいはおいしいですね。おりようりのときにでた、やさいのきれはしや、やさいのかわをスタンプにして、「やさいハンコ」をつくってみませんか？ぺったんぺったんたのしいですよ！このハンコをつかって、おともだちに手づくりのカードをおくってみるのもいいかもしれません。

よしだ きみまろ／さく 福音館書店



「てがみはすてきなおくりもの」

けいたいでんわやパソコンのメールとちがって、「てがみ」は、かかれたもじや、そのくふうから、あいてのきもちがとてもよくつたわってくる、「すてきおくりもの」です。はっぱやかいがらなど、たくさんのすてきな「てがみ」をかいて、たいせつな人におくってみませんか？



スギヤマ カナヨ／著 講談社

「自由研究図鑑（じゅうけんきゅうずかん）」

じゅうけんきゅうのヒントがたくさんつまった本です。「すぐにあきる人」にむいているけんきゅうや、「がんばりやさん」むけのけんきゅうなど、タイプべつにしょうかいしているページもあります。ことしのなつは、じゅうけんきゅうをがんばってみませんか？

有沢 重雄／文 月本 佳代美／絵 福音館書店



「お江戸（えど）はやくちことば」

いまから300ねんくらいむかし、江戸（えど）じだいの人たちは、ことばあそびがだいすきだったようです。むかしからつたわる はやくちことばと、さくしゃのすぎやまさんがつくった おもしろい（むずかしい！）はやくちことばがたくさんあります。こえにだして たのしみましょう！

杉山 亮／文 藤枝 リュウジ／絵 河合楽器製作所・出版事業部



「小学生のキッチンでかんたん実験 60」

親子で楽しく遊びながら、学べる！

「じっけん」ときくと、とてもむずかしそうですが、この本をよめば いえのキッチンで じっけんができるのです！しおやタマゴ、やさいなどみぢかなものをつかって、かぞくでじっけんをたのしみましょう。なつ休みのじゅうけんきゅうにもできますよ。

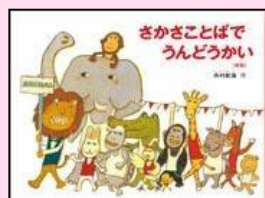
学研



「さかさことばでうんどうかい」

“うんどうかい”といっても、こちらは“ことば”でたのしむ、うんどうかいです。たとえば、「ぞうくん くうぞ」「よう くうよ」をよんでみてください。そしてつぎに、したからよんでみましょう。あれあれ？声をだしてよむと、たのしい絵本です。

西村 敏雄／作 福音館書店



「ひもほうちょうもつかわない 平野レミのおりょうりブック」

火やほうちょうをつかうことができない人でも、かんたんにできるりょうりをしょうかいしています。おやすみの日に、かぞくのぶんも作って、みんなでたのしくいただきます。

おなじ人がかいた、おにぎり、サラダの作りかたの本もあります。

平野レミ／[文] 和田唱・和田率／絵 福音館書店

